

中国におけるマイクロブログの利用実態と認識

The Actual Situation and the Public Understanding of Micro-blog in China

学籍番号：201121756

氏名：李 妍

Yan LI

マイクロブログは世界的に普及している。日米ではTwitterが最も一般的だが、中国では国産のマイクロブログ（「微博」）が広く利用されている。これまでの調査結果では、利用者が個人的なやりとりのためにマイクロブログを利用している様子が報告されているが、一方でメディア研究者はマイクロブログを自由な発言を促し、社会変革をもたらすメディアとみなす傾向にある。そこで、本研究では一般市民を対象とした質問紙調査（ウェブ）を行い、彼らがマイクロブログをどのようなメディアとしてとらえ、利用しているのかを明らかにした。調査結果によると、利用者は主に考え方や日常生活を記録するため、また情報を入手するためにマイクロブログを利用し、最も多くやり取りをするのは知人や周囲の人である。マイクロブログは既存のメディアと比べ、利便性が高く、情報の伝達速度が速いほか、話題が身近になるという点をメリットと感じている。一方、流言や噂が多い、情報が整理されていないといったデメリットも顕著になっている。回答者の6割は投稿が削除されるあるいは公開を禁止されるといった処分を経験しているが、多くの人々は発言が処分されることを仕方のないことだと受け入れている。これは、処分を受けた経験の有無やマイクロブログの利用頻度とも関係しない、中国の一般市民の全体的な傾向である。

研究指導教員：歳森 敦

副研究指導教員：松林 麻実子